

## 陳 情 文 書 表

令3陳情第13号	令和3年8月24日受理
件 名	加齢性難聴者の補聴器購入に公的助成を市へ求める陳情書
陳 情 者	秦野市北矢名56-9 全日本年金者組合神奈川県本部 秦野支部書記長 平井 洋子
陳 情 の 要 旨	
<p>高齢者で組織している全日本年金者組合は、高齢者の健康、くらしの充実そしてひとりぼっちをなくすなどのためにサークル活動などを通して、生き生きと活動しています。</p> <p>さて、高齢化が進む中で、加齢性難聴者が全国的に増加傾向にあります。</p> <p>日本の難聴者は推計1430万人（一般社団法人日本補聴器工業会調べ）に対し、補聴器所有者は約210万人（14.4％）に過ぎません。補聴器普及率はヨーロッパなどの先進国（37％～48％）に比べ日本は後れているのが現状です。</p> <p>難聴者は日常コミュニケーションが取りづらく生活に支障が生じ、また、認知症やうつ病などを誘発することも指摘されています。</p> <p>このような状況を反映し、難聴は、いま全国的に高齢者の中で重要な課題であり、補聴器の必要性が高まっています。</p> <p>しかし、補聴器の価格は一般的に高価で、年金生活者にとっては負担が大きく求めにくい状況に置かれています。</p> <p>このような実態の中で、近年、高齢者の声を受けて自治体が独自に補聴器購入助成や補聴器の使用上におけるサポートなど難聴者への施策、事業の実施が広がっています。</p> <p>秦野市でも難聴者への施策を検討していただき、高齢者の難聴が少しでも改善されることにより、結果として健康寿命の延伸となり、医療費抑制にも寄与するものと考えます。</p> <p>陳情事項 補聴器購入における助成制度の施策を検討し、実施してください。</p>	